

低コスト化に向けた現地検討会の開催

－ 森林作業道づくりについて －

山形森林管理署 最上支署

間伐における低コスト化の推進については、高性能林業機械による効率的な作業システムの着実な普及・定着が進められているものの、労働生産性に関してはここ数年伸び悩んでいる状況にあります。

そのような状況において高性能林業機械の性能を最大限に発揮させるため、オペレーターの技術力向上も視野に入れた効率的な路網の配置・整備が重要となっていることから、森林作業道の各工程でのポイントとなる技術の確認、課題の検討等を行う現地検討会を実施しました。

平成24年10月17日、林業事業者関係者、県・市町村の林務担当者など50名以上の参加の下、



森林作業道の現況

<座学の様子>



○午前： 座学として高性能林業機械の普及状況、森林作業道作設の講義、他署の森林作業道の経過観察をした事例紹介などを実施

○午後： 現地検討会として、6班に分かれ今年度作設実行した箇所(point)の点検し、推奨・改善点の発表・意見交換を実施

今回の検討会は、作設後の実態の確認や参加者全員が現地の細部までチェックし予想以上の意見

が出されるなど、森林作業道作設におけるポイントの理解を深める結果となったものと考えられます。

今回の現地検討会での推奨・改善点を踏まえ、更に経験を積むことで今後の施工に繋げるとともに、継続して検討会等を実施することで、署の職員・林業事業者等の更なるレベルアップを図ることを期待しています。



各班での点検の様子